

■用語解説

あ行

■インターンシップ

学生がインターン(実習生)として、一定期間、企業で実際の仕事を体験すること。

か行

■継業

事業あるいはその経営基盤を継ぐこと。特に、親族や従業員といった一般的な後継者候補ではなく、第三者的な立場の者に引き継ぐこと。

■コワーキングスペース

様々な業種の個人が、机・椅子・ネットワーク設備などの環境を共有しながら仕事を行うことができる場所のこと。利用者同士の積極的な交流や共働を促すことが期待される。

さ行

■サテライトオフィス

都市部に本拠を持つ企業が、郊外等に設置するオフィスのこと。地方のオフィスでは、都会の喧騒を逃れ大自然の中での効率的な仕事を行う場として期待される。

■産・官・学・金・労・言

産業界・国や県の関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等の多様な主体のことを示す。

地方創生の取組には、このような幅広い主体の参画が求められている。

■シェアカー

複数の人が共同で使用する自動車のことで、駐車場代や保険、車検、税金などの負担を軽減することが可能となる。

■集落支援員

人口減少や高齢化が深刻な集落において、地域の事情に詳しい相談員が巡回し、各世帯の状況把握や集落の共同作業の手伝い、困りごと相談など幅広い分野で支援を行う制度のこと。

■スクールカウンセリング

児童生徒の心理的な発達を援助する活動であり、「心の教育」や「生きる力を育てる」などの学校教育目標と同じ目的を持つ活動のこと。

た行

■地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある[都市]住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度のこと。

■地域高規格道路

地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路として整備することが望ましい路線として、自動車専用道路もしくはこれと同等の規格を有し、概ね 60km/h 以上の走行サービスを提供できる道路のこと。

■デュアルスクール

徳島県が政策提言を行っている、地方と都市の双方のよさを教育活動に取り入れることができるように、地方と都市の2つの学校が1つの学校として教育活動を展開することのできる仕組みのこと。

■テレワーク

「tele=離れた所」と「work=働く」をあわせた造語で、情報通信技術を活用し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

ら行

■ライフステージ

人間の一生において、出生から、学校卒業、就職、結婚、出産、子育て、リタイアなどの人生の節目によって変わる生活（ライフサイクル）に着目した区分のこと。

■6次産業

農林業（1次産業）と製造業（2次産業）、小売業等（3次産業）の事業を総合的かつ一体的に推進し、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組のこと。

■ロケーション

位置や立地のこと。

わ行

■ワークインレジデンス

仕事を持っている個人を、受入側が指名して移住してもらう制度のこと。

■ワーク・ライフ・バランス

仕事と家庭・私生活をバランスよく両立させていこうという考え方のこと。

アルファベット

■GCRC（日本版CCRC構想）

「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」をめざすもの。

■FREE Wi-Fiスポット

店舗や公共の空間などで無線LANによるインターネット接続が可能な場所のこと。

■ICT

Information and Communication Technology の略で、情報や通信に関連する科学技術の総称のこと。

■NPO

「Nonprofit Organization」または「Not for Profit Organization」の略で、利益を目的としない「民間非営利組織」のこと。

■PDCAサイクル

計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)という4段階の活動を繰り返し行なうことで、次の計画に活かしていくプロセスのこと。

■SNSサービス

ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのことです。

■UJIターン

大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態を指す。